

下大和田谷津田だより

2003年3月号

第21回谷津田プレート・プロジェクト(YPP) 田んぼの草取りとあぜ作り

2月15日 晴れ

穏やかな晴天に恵まれ、今年の米づくりに向けた作業をしました。

水路に近い田んぼの1枚はこれまで2年間放置してタコノアシやガマがのび放題。泥に足をとられながら密に生えた草を抜くのは大変な作業です。初めて参加された方々もみんな泥んこになりながら精を出し、昼前に何とか全部抜き取ることができました。広い水面が2年ぶりに姿を現し、田んぼが戻ったという感じで実に気持ちがいいです。低くなったあぜに田んぼの泥を上げ、穴が開いた畦を一度こわして補修して、あぜもきれいになりました。最後にはオダ掛け用に竹の切り出しもしました。

アカガエルの卵は、今年は62個と去年(41個)よりも増えていました。そう、草取りをしていたら2匹の親アカガエルが顔を出しました。親指の付け根にこぶがあったので、産卵に来るメスを待っているオスガエルでしょう。冬枯れの景色の中、鮮やかな赤い色が印象的でした。

冬場で一見何も住んでいないように見える水路の生きものを調べたら、たくさんのヨコエビをはじめ、メダカ、タモロコ、ドジョウ、カワトンボのヤゴなど、春を待ち受ける命で一杯でした。作業中もノスリが上空を飛んだり、アオジやエナガ、セグロセキレイなど鳥たちの鳴き声が聞こえたり、冬の谷津田も生きものの気配であふれています。

作業に参加された皆さん、お疲れさまでした。

(参加者：大人21人・小学生4人・乳幼児2人、報告：高山邦明)

第38回「下大和田谷津田の 観察会とゴミ拾い」報告

2月2日

参加者2名で少々淋しい観察会でしたが、ベニマシコを初めて見る事が出来感激。今冬は例年になく寒い日が続いています。北側の休耕地も氷が張っているので歩けました。川の流れが澄んでとても美しく、崖に1つものツララを見ることが出来ました。

植物：オオイヌノフグリ、タネツケバナ、ヒメオドリコソウ、ノゲシ(蕾)

野鳥：アオジ、ウグイス、エナガ、カケス、カワラヒワ、キジバト、コゲラ、シジュウカラ、シロハラ、ダイサギ、ツグミ、ハシボソガラス、ハクセキレイ、ヒヨドリ、ホオジロ、メジロ、モズ、ベニマシコ(3羽)

昆虫：クビキリギス、ダンゴムシ、マルカメムシ、イラガ(繭)

(参加者：大人2人、報告：芳我めぐみ)

下大和田季節のたより

2月 8日 アカガエルの卵塊5個を初認(高山)

2月11日 アカガエルの卵塊、53個に増える(高山)

2月26日 アカガエルのオタマジャクシが誕生しているのを確認(網代)

天気がくるくる変わるようになりました。ヒバリやウグイスの初鳴き、ツバメの到来など、今年の春さがしが楽しみです。この谷津田だよりも2年目を迎えました。これからも下大和田の自然や暮らしをお伝えしていきますので、よろしくお願ひします。

高山邦明